事業所名　キッズスペース・フローラ

支援プログラム

作成日　令和８ 年　1 月　30 日

法人（事業所）理念	子ども一人ひとりの育ちを丁寧にサポートする。どんなに小さなこと、大人には理解しづらいことでも、自分から生き生きと始めた遊びの中に、子どもの育とうとする力が宿っている。 今できること、やりたいことを存分にやり切る体験が一歩一歩の成長に繋がっていく。			
支援方針	＊身体感覚を育てる～身体を使って楽しく遊び、いろいろな動きをすることで、身体感覚が培われる。まず、やりたいと思い、本人が楽しいと感じられるように支えていく。 ＊体験を積む～絵画、陶芸、木工、料理など、楽しい経験を積み、達成感を味わうことで自信をつけていく。			
営業時間	9 時　0 分から　18 時　0 分まで		送迎実施の有無	あり
	支　援　内　容			
本人支援　健康・生活	＊生活に必要な様々なことは、まず身体感覚を育てていくことから始まる。身体を使って楽しく遊ぶ体験を積み重ねて、自分の身体をしっかりと感じられるよう支援する。 ＊畑の種まき、収穫、料理など食べることへの興味を育てていく。			
本人支援　運動・感覚	＊身体感覚を育てるために、本人が楽しく身体を動かせるような環境を与える。（公園、プール、畑や登山道などの自然の中など） ＊飛び跳ねる・走る・転がるなど、本人が求めていることを思いっきりやり、感覚が満たされるよう支える。 ＊水、泥んこ遊び、ハンモック、追いかけっこ、よじ登る、トンネルくぐり、綱引きなど、身体に必要だと思える遊びを大人が理解して、意識して取り入れる。			
本人支援　認知・行動	＊しりとり、数字遊び、かるた、絵本の読み聞かせ等々、子どもが楽しんで遊ぶ過程で1人ひとりの認知の特性を理解し、遊び込めるよう支える。 ＊身体感覚（筋肉の固有感覚）が鈍いと、着るものや食べるもの、場所の移動などへのこだわりがみられる。身体感覚を育てること、様々な体験を積み自信をつけることで、こだわりが和らいでいくように支える。			
本人支援　言語コミュニケーション	＊誰かに伝えたいという思いがあふれるような、楽しい時間を過ごせるよう支援する。 ＊興味が持てるような絵本を身近に準備して、様々な物語を楽しむ環境を整える。 ＊図書館、メルヘン館など、お話に触れる場に行く。			
本人支援　人間関係社会性	＊子どもがすることには原因や理由がある。子どもがやりたいということ、求めることにできる限り応えることで、安心して自分を出せる場となり、人や自分に対する信頼感を育てる ＊1人ひとりが楽しむ中で、大人が介在してさらに他のお友だちとも共有したいと思えるよう、支援していく。			
家族支援	＊何か困りごとがあれば、すぐに面談をして話を聞き、子育てを1人で抱え込まないよう連携を図る。 ＊年４回保護者会を開催（保護者同士で語り合える場を設ける）		移行支援	＊就学に向けて、保護者や幼稚園等と情報を共有しながら、その子にとって一番過ごし易い環境にすすめるように支援する。進学先にも丁寧に情報を伝える。
地域支援・地域連携	＊子どもが通所している幼稚園、保育園、児発の事業所、また相談支援事業所などとの連携を密にする。		職員の質の向上	いろいろな研修の場を設けたり、紹介したりして、学びたい気持ちに応えていく。 月に1回全員集まるミーティングを行う。
主な行事等	＊絵画、陶芸、木工、料理など、様々な教室を計画 ＊作品展を年に1回開催			